

人口ビジョンにおける基本的な考え方から想定される 鎌倉市まち・ひと・しごと総合戦略の基本的方向について

国が示す基本目標

- ・地方における安定した雇用を創出する
- ・地方への新しい人の流れをつくる
- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

資料3

安定した雇用を創出する

基本的方向

ベッドタウンでありながらも昼間人口が多いという特性を踏まえ

* 雇用の場の創出・拡大

職住近接のライフスタイルをかなえる産業構造への転換等

* 様々なライフステージ、キャリア等に応じた就労環境の整備

結婚・子育てと仕事の両立を前提とした就労スタイルの支援等

* 起業支援

(これまでの取組・既存事業)

企業情報発信サイトの運営、商工業元気アップ事業、個別就職相談の実施、求人情報の提供など

新しいひとの流れをつくる

基本的方向

県内他市、類似都市等と比較して人口の高齢化が顕著な状況を踏まえ、

* 人口構造の若返り

若年層の転入促進・転出抑制を図るための施策の推進等

* 住宅環境の整備

本市の魅力を維持・発信しつつ、多様な世代が住み続けられる住宅を確保等

(これまでの取組・既存事業)

高齢者住まい探し相談会、住宅リフォーム制度の創設など

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的方向

未婚率・平均初婚年齢が高く、人口の再生産力が低い状況を踏まえ、

* 結婚・出産に関する障害の除去

結婚・出産に関する総合的な支援、情報提供等

* 職場におけるワーク・ライフ・バランスの向上

子育てしながら働くことができる職場環境の整備、事業者への啓発等

* 子育て支援

市外で働く場合でも、子育てに支障が生じない環境の整備

(これまでの取組・既存事業)

産科診療所の運営支援、妊産婦健診への助成、保育所・子育て支援センターの整備、子ども会館・子どもの家の整備、ファミリーサポートセンターの運営など

都市の魅力に磨きをかける

基本的方向

都市ブランドのある「選ばれる」まちであり続けるために、

* 豊かな自然環境、豊富な歴史的遺産の保存

* 文化の継承・創造・発信

* 豊かな生活を享受できる居住環境の維持

* シティプロモーション等による、さらなるブランド力の向上

(これまでの取組・既存事業)

みどりの公有地化、良好な居住環境やまち並み景観の維持、貴重な歴史的遺産の保存など